〔様式1〕	平成18年	王度 事 活	多事業	評価表				
記入年月日	平成18年	•	記入者	連絡分	七 3811			
部名	消防本部							
事務事業名	11177711		5災組識訓練指導					
予算上の事務事業名 自主防災組織訓練指導費								
1 総合計画における位置づけ								
基本 目標 II 「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして								
								
基本施策名第1節 災害に強いまちづくり 事業開始年度								
施 策 名 第 2 施策 防災対策の強化 昭和63年以前 ▼								
2 実施根拠及び関連法令・条例等								
災害対策基本法、相模原市地域防災計画								
3 個別計画の概要 概要								
計画名 相模原市地域防災計画 市域並びに市民の安全を災害から確保するため 災害に強いまちづくりの実現を目指し、災害								
計画年次 昭和39	年度~	年度	こ必要な施策を計	囲したもの。				
4 事業形態の区分 啓発・広報・イベント ▼								
5 事業概要								
(1) 事業の目的) 対象(誰、何)			
市民一人ひとりが防災に関する知識や技術を身に付け防災意識を高め、日ごろから十分 な準備をしておくことが被害を最小限にとどめることとなり、市民それぞれが組織的に 協調して行動することにより、はじめてその効果が最大限に発揮できる。このため、市 は地域の人たちが「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識を養い、また、災害 時に有効に活動できるよう組織の充実強化を図るため、自治会等を単位とした自主防災 組織の訓練を促進することを目的とし、訓練機材の整備等を行うもの。								
(3) 平成17年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。								
自主防災訓練回数:195回(平成17年度中)消防職員等が指導にあたり、各単位自治会等が実施 防災リーダー研修会:3回(平成17年6月28日、11月11日、平成18年3月17日)防災課が主催し総 合防災センター等で実施 消防団防災指導員養成講習会:1回(平成17年5月22日)消防総務課が主催し、相模原市立中央小学校で実 施 訓練用消火器詰替え:154本(平成17年度中)総合防災訓練等防災訓練で使用								
6 関連・類似事業や他市の状況 他自治体も同様な目的で実施している。								
7 事業費の推移					〔単位:千円〕			
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度			
事業費		1, 599	1,860	2, 595	2, 595			
一般財源	664	1, 599	1,860	2, 595	2, 595			
受益者負担金 その他の特定財源	0 1, 038	0	0	0	0			
人 件 費 の 合 計	·	470	469	469	469			
事業コスト合計								
	2,169 活動単位当たりの	2,069 n車業効率	2, 329	3, 064	3, 064			
事業名 (または、主たる事業	・・活動単位当たりの事業効率 対象名称 と単位 対象名称 と単位							
_{名)} 年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度			
事業コスト(主たる事業)	2, 169	2, 069	2, 329	3, 064	3, 064			
対象数	141	134	195	200	200			
単位あたり経費(円)	15, 383	15, 440	11, 944	15, 320	15, 320			
前年度比		1.00	0.77	1. 28	1.00			

9 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの									
指標名 <mark>訓練実施回数(自主防災組織</mark> 指標式と と単位 <mark>数) 指標の説明 </mark>									
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)				
実 績	141.0	134. 0	195. 0						
目 標	434.0	434.0	433.0	433.0	433. 0				
目標達成度(%)	32. 5	30. 9	45.0						
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの									
指標名 と単位 調練実施回数 指標式と 指標の説明 指標式と 指標の説明 自主防災組織数*100 自主防災組織数に対する訓練実施数の割合									
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度(目標)				
実 績	32.5	30.9	45.0						
目 標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
目標達成度(%)	32.5	30. 9	45.0						
11 個別評価									
(1) 妥当性の評価	(1) 妥当性の評価 〔A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない〕								
□・法令、条例により実施することが義務付けられている。									
□ ・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。 ☑ ・公益性が高い、または必需性が高い事業である。									
1 1 L									
□ ・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。 □ ※ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑									
✓ ・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。(2) 有効性の評価 〔A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない〕									
(2) 有効性の評価 【A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない】									
l . 			さく貢献してい						
A					たらしている。				
・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。 ・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。									
(3) 効率性の評価	〔A:効率が£	臭い・B:効率性	Eを高める余地がる	ある・C:効率か	[活形]				
		の経費は適正であ							
l B		スト節減の余地が							
	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。								
・事業の実施方法や実施体制は適正である。									
(4) 民間活力の導		ちゃ無〕 または <u>へ</u> 如に へい	、イ 早期で学生	ナッナが奴曲の色	たいようと 車役 ふご フ				
・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に動き、業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れ									
l 無									
	」・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。 ・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。								
12 総合評価(一			, _ , _ , _ , _ , _ , _ , _ , _ , _ , _	<u> </u>	0				
(1) 自動判定結果									
	〔★★★★〕:良								
 ***		ね良好な状況では							
^ ^ ^	· · · · · / /-	直しを行う必要な		. ア ッ カ - 1 - 2 70 / 2					
			る) 課長の評価に 3併した津久井地域		たちのまちけ自公				
	- 拡充・充実 - 現場###		- 所じた伊久开地域 - ちで守る」という						
拡充・充実	・現状維持		战の充実強化を図る						
	<mark>」</mark> ・見直し								
	・廃止								
13 成果の向上及			[4 課題として認		(S) that when				
地域防災力の向上をするため、訓練に対する			∥練実施数を目標値 ∵広く周知を図る。						
練資機材の充実を図る			「畑へ周畑を囚る。 ∥練の必要性につい						
大を図る。									
15 二次評価									
(1) 行政評価会議	による評価 (今	後の方向性) (2) 二次評価コメ	ント					
(工) 口外间脚五贼	・拡充・充実	\(\times \cdot \sqrt{1.11\pi}\) \(\)	現行の補助金制度		9年)の成果を検				
TH (15 A)), LL	<u> </u>		証し、効果的な事業を推進する。						
┃ 現状維持 🔓	□ · 見直し								
 -	一・死回し								